

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)特別養護老人ホーム ラベ相模原	階数	地上4F
建設地	相模原市南区当麻字下河原3539番	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	140 人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年2月 予定	評価の実施日	2013年3月27日
敷地面積	6,950 m ²	作成者	株式会社新環境設計
建築面積	1,888 m ²	確認日	2013年3月27日
延床面積	5,671 m ²	確認者	株式会社新環境設計



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: A: B+: B-: C:

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
参照値: 100%
建築物の取組み: 63%
上記+ 以外の: 63%
上記+: 63%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです (kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.2

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 3.1

LR のスコア = 3.5

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.5

3 設計上の配慮事項		
総合 ・自然環境に建物が調和するように配置し、中庭(吹抜)を採用し、自然換気、自然採光を図っている。 ・建築物の外壁窓等を適切に配置し熱損失防止に努め、空調の台数制御、照明機器のゾーニング等対応。		その他
Q1 室内環境 ・1作業単位及びベッド単位にて照明制御可能。 ・F かつVOCに考慮した建築材料を全面的に採用。	Q2 サービス性能 ・内外装に防汚性に配慮した仕上を選定、極力段差の無い設計。 ・清掃用具の保管場所、ゴミ保管場所を適切に配置。	Q3 室外環境(敷地内) ・緑化率10%以上確保し、敷地や建物の植栽条件に応じた緑地づくりを行い、維持管理に必要な散水栓等の設備を設置し、定期的な水遣り等を行う。
LR1 エネルギー ・空調の台数制御、照明機器のゾーニング及びセンサー対応、給湯配管の断熱。 ・中庭を設け自然採光、通風など自然エネルギーを利用。	LR2 資源・マテリアル ・接着材(長尺塩ビシート、壁紙、タイル等)に有害物質を含まない材料を使用。	LR3 敷地外環境 ・建物の熱負荷抑制やエネルギーの効率的利用、設備排熱がジョーサーキットしない配置を工夫。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
Q: Quality (建築物の環境品質), **L:** Load (建築物の環境負荷), **LR:** Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), **BEE:** Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される